

えすぽあ

espoir (エスポール) = フランス語で「希望」

No.51
2019.3

「男女がともにさんさんと輝けるまち 津山」の実現をめざして…

えすぽあ
インタビュー

石井香里さん
(起業家)

津山市を拠点にカラープランニングやスクール運営、講演会など幅広い分野で活躍されている有限会社アクティ代表取締役の石井香里さんにお話を伺いました。

起業されたきっかけについて教えてください。

以前から独立を考えていたのですが、会社にも勤めていた頃から、カラーについての勉強をしていました。その後、ストレスから体調を崩し、それが一つの転機となって、28歳の時に起業する決心をしました。

起業することに不安はありましたか？

元々、自分の直感を信じていたので不安はありませんでした。不安に感じるものがあっても起業してはダメだとは思いません。計画的であることは勿論大切ですが、その通りに進むとは限らないので、「なんとかなる」と考えて行動しています。

起業前に必要なことはありましたか？

確かな知識や技術を身に付けるということですね。私自身、



会社員時代は、岡山市内で学び、起業後は、育児をしながらも東京や大阪、海外で資格取得や勉強等のために活動してきました。今でも常にスキルアップするために学び続けています。

起業前後で変化したことはありますか？

自分の好きなことを仕事にしているのがいいですね。仕事が出来ているということ、時間の使い方ですね。今は仕事のスケジュールを自分の好きな形に組むことが出来るので子どもの行事を最優先させるようにしています。

起業後に重要視していることは何ですか？

一番は「人との繋がり」ですね。起業後は、さらに重要視するようにしました。起業直後は営業活動もしていましたが、今は営業活動自体はほとんど行っていないので、仕事の依頼などは知人や受講生からの紹介で受けることが多くなっています。

受講生やお客様からの声が自身のモチベーションに繋がることも多いので、企業運営の維持に人との繋がりが大きく関わってきていますね。

幅広い分野での活動をされていますが、起業当初からその予定でしたか？

大分違いますね。元々は個人向けのサロン経営を予定していましたが、現在は講演・研修やスクール運営なども含めた活動をさせてもらっています。

きっかけは御縁があって商工会議所でカラーに関する講演の依頼を受けたことでした。その後、以前、資格取得のために通っていた学校から誘いを受けてしばらくの間講師活動をした。その頃の経験と、当時カラーやアロマの資格取得のための学校が岡山県内に無かったことから「無いのであれば、私が作る」と思いスクール運営を始めました。

津山を拠点に活動されている理由は？

元々、津山でカラーに関する仕事は認知度が低かったことがあり、岡山市内を拠点に活動していた時期もあるのですが、段々と郷土に対する思い入れが強くなり帰津しました。独立当初だと、津山からでは

難しかった情報発信もインターネットの普及で容易になったので、「田舎にいてもできる」ということを発信したかったんです。現在でも、多くの時間を市外・県外で過ごしていますが、今後も津山を拠点に活動していきたいと考えています。

それでは、最後に起業を考えている方に一言お願いします。

好きなことを仕事にというのはよく聞きますが、どんな仕事でも楽しいことばかりではありません。起業すること自体は簡単ですがそれを維持するための技術や知識をしっかりと身に付ける必要があります。

加えて、女性の場合は妊娠や出産といったような想定外のこととあり得ます。そういったときは一人で抱え込まずに周囲の手助けや公的な援助をうまく活用すると良いと思います。一人だと出来ないことも周囲との助け合いによって上手くいくことが多くあります。そういう人間関係を築くためにも自分自身が周囲に誠実であるといった人間性も大切にしたいですね。



「男女がともにさんさんと輝けるまち」



津山市では、仕事と生活の両立や男女がともに働きやすい職場環境づくりなど、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む企業を「津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定しています。平成30年度時点で47社の企業が認定されており、その取組事例を広く紹介することで、企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進を応援していきたいと考えています。

今回は認定された企業の取組に関するアンケートの一部を紹介します。

1 ワーク・ライフ・バランスや女性活躍の推進に向けた取組を始めたきっかけを教えてください。

- 会社の中に連帯感や一体感がなければ強い経営は出来ないと考え、働き方も含め業務の全体を見直しました。そうした中で「従業員は家族の支えがあってこそ十分な能力発揮が可能となり、ひいては会社の利益につながる」と考えて、従業員の仕事と子育ての両立の支援を積極化していきました。（製造業）
- 少子高齢化が進む中、人材確保の観点から従業員の会社満足度向上と女性の更なる活躍を図るためにワーク・ライフ・バランスの取組を加速させました。（製造業）

2 ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進に向けた主な取組（休暇制度など）を教えてください。



- 「働き方改革委員会」「女性活躍推進委員会」の設置（総合設備業）
- 育児もしくは介護のための早出遅出労働（教育・事務）
- 結婚、出産等を理由に退職した従業員の再雇用（小売業）
- ポジティブオフ制度の導入（製造業）

3 社内で取組を浸透・定着させるための働きかけなどがあれば教えてください。

- 外部研修やセミナーに参加し、取組の重要性に対する認識を深めることや、社会保険労務士等の専門家による勉強会の開催等を通じて当庫内への浸透を図っています。（金融業）
- 育児休業中の職員と定期的に情報交換を行い、育児休業中の不安を和らげるとともに復帰後のプランについて個々に話し合いを進めることにより、安心感を与えるように努めています（老人福祉）

4 ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進に向けた経営者・管理者の想いや考え方をお聞かせください。

- 技能をもった方でも、それぞれの事情の中でフルタイムに限らず働き、ワーク・ライフ・バランスを実現したいという要望を少なからず持たれているものだと実感しています。そういった方々のワーク・ライフ・バランスを実現しながらも、同時にお客様により付加価値の高いサービスを提供できることを心がけています。（デザイン業）

津山」の実現をめざして

5

ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍を推進している中で、社員の方の声をお聞かせください。

- ・フレックスタイム制は柔軟に勤務時間の変更ができるため大変助かっています。特に子供を送り出した後の朝の時間は大変貴重なもので、掃除機をかけたりと色々な家事をこなすことができます。上司にも制度利用を勧めていただき、周囲の理解・サポートも得ることで、子育てをしながらも安心して仕事に取り組むことができます。（金融業／女性）
- ・メモリアル休暇制度（年5日間）を使って休みを取りました。職場全体が事前に理解しているので気兼ねなく休むことができました。（製造業／男性）

6

今後、取組を行っていかようと考えている事業者の方へアドバイスなどがあればお聞かせください。

- ・ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進については、逆転ホームランはなく、まずは小さなこと、できることから始め、それを継続しながら徐々に定着を図ることが重要と考えております。（金融業）
- ・ワーク・ライフ・バランス施策（就業規則等の改正）について過半数代表者の意見聴取などを行い、教職員の意見を把握し、職員提案制度の導入も行っています。職員の意見聴取は制度等の周知にも繋がるため、積極的に行うのが良いと考えられます。（教育・事務）

企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組とは、従業員の「仕事」と「仕事以外の生活」の両立を支援し、従業員が働き続けやすい職場環境を整えることにあります。

例えば、従業員が子どもを産み育てながら、または親を介護しながら仕事を続けるために、休暇制度を導入したり、働く時間に柔軟性を持たせたりして仕事以外の時間を確保する環境を整備すれば、従業員は仕事を辞めることなく、長く活躍してもらうことが可能になります。また、そのような環境は、その他の従業員にとっても働きやすい環境となります。

ワーク・ライフ・バランスの充実企業・従業員双方にとってメリットのある取組です。



今回掲載している企業のより詳細な取組については「取組事例集」に掲載予定です。詳しくは津山市人権啓発課（津山男女共同参画センター「さん・さん」）までお問い合わせください。

登録団体紹介

「さん・さん」には団体の登録制度があります。登録されると会議室の利用料が免除されるなどの利点があります。男女共同参画社会の実現に向けた取組をしている団体などが活動する場所として、活用を検討してみてはいかがでしょうか。

煎茶道小笠原真流みやび会

どのような団体か
教えてください。

私たち煎茶道小笠原真流みやび会は、東栗倉の道仙寺林晃州宗家のもとで岡山県北に発足し、今年で36年になります。

現在の会員数は40名程で、老若男女様々なメンバーで構成されています。お茶を習い

始めたきっかけも皆さんさまざまで、例えば、「お茶会で美味しい煎茶とお菓子を頂き、自分でもいれてみたい」「お盆やお彼岸に来られるお寺さんに美味しい煎茶をお出ししたい」「着付けを習ったので着物を着てみたい」「認知症の予防になるかもしれない」等々。

今の時代は、何事も便利になりましたが、忙しさの中でも一服のお煎茶をいれる手間と余裕を楽しみたいと思っています。

「さん・さん」をどのように活用していますか。

みやび会が津山男女共同参画センター「さん・さん」で団体登録して、まだ一年と少しです。外部の方へ向けた活動としては、主にお茶会を開催し、煎茶の楽しさを広めることをすすめています。

「さん・さん」を利用した活動としては、さん・さん祭りの企画団体の一つとして参加し、簡単な「おちやばーてい」を開催しています。今後は、煎茶の体験会なども企画していくことが出来れば良いと考えています。



新着図書紹介

男女共同参画に関する図書・ビデオ・DVDを取り揃え、皆さんにお貸ししています。図書は1カ月以内で何冊でも、ビデオ・DVDは2週間以内で2本まで貸出できます。

